

## A-1 テーマ「子育て」

### 現状の姿

- ・ 教育
  - 先生は忙しい
  - 学校で先生が忙しすぎて生徒の対応が出来てない
- ・ 地域
  - 子どもを守る地域の力(防犯)弱
  - 埼玉都民、地元のつながりがうすい
  - 東京が近い
- ・ 家庭
  - 核家族が多い
  - 父親が忙しい
  - 保護者も忙しい(一人親、共働き)
- ・ ハード1
  - 病気の子どもの対応が悪い
  - 待機児童(保育園)
- ・ ハード2
  - 遊ぶ場所がない
  - 街が暗い
  - 親子連れで出かけられる場所が少ない
  - 子供達の居場所が少ない
  - 道がせまい
- ・ 未分類
  - 出産できる病院・産院が少ない

### 対応策とその担い手

#### (1) 行政

- ・ 地域に眠っている力を発掘
- ・ シティ・プロモーション、もっともっと活性化
- ・ 市民を信じてほしい(使ってほしい)
- ・ 病院・産院の誘致

#### (2) 協働

- ・ スピード感◎
- ・ 市民団体、NPO法人等の活用
- ・ これならできるという市民と共に!
- ・ 市民と企業と行政が特色を出す
- ・ 中間層の満足度UP
- ・ 市民の声をきく◎

#### (3) 市民

- ・ 市民の中から市民の力をまとめる人
- ・ 多くの市民に参加を呼びかける(関心をもってもらおう)※
- ・ 子供達の見守り(声かけ)

### 望ましい姿

- ・ (グループ1)
  - 地域に開かれた学校
  - 子ども向け講座
- ・ (グループ2)
  - 働き方改革
  - ワークライフバランスのとれた
  - 病気の子どもも安心して預ける仕組みがあるといい
- ・ 未分類
  - 自動車のない社会
  - ボールあそびのできる公園

## A-2 テーマ「子育て」

### 現状の姿

- ・ 金銭面
  - お金がかかる
  - 金銭面の厳しさ
- ・ (グループ1)
  - ゲームが止められない
  - 家庭での躰
  - スマホなどがないと仲間外れになる
- ・ 情報化
  - 子育て情報があふれている
- ・ 子どもに対する目、遊び場
  - 道路が危い
  - 外の危険が多い
  - 野球やサッカー禁止の場所が多い
  - 閑静な住宅＝高齢者が多い地域、子どもがいない
  - 子どもの声を「うるさい」と迷惑なものとしている
  - 遊びの場がない
  - 外で遊ぶところがない
- ・ 家族形態の変化
  - 孤立核家族
  - 核家族の家庭が多い
  - 放課後児童クラブ足りてない？
- ・ 未分類
  - 進学が複雑
  - 外国の人ともっとコミュニケーションとれると良い
  - 複雑な人間関係
  - 少しかもしれないが、学校と地域の連携があり

### 対応策とその担い手

#### (1) 行政

- ・ 協働のきっかけづくり
- ・ 経済的支援
- ・ 公共施設の活用

#### (2) 協働

- ・ 子育てサポーター、ボランティア
- ・ 伝統文化の継承
- ・ 遊びの継承

#### (3) 市民

- ・ 自立した子育て団体

### 望ましい姿

- ・ 居場所づくり
  - 学校外の居場所
  - 広く球技ができる場所があると良い
- ・ 経済的支援
  - お金の助けがあると良い
- ・ 見守り
  - 子どもをみんなで見守る
  - みんなで子育て
- ・ ネットワーク作り
  - 顔の見える関係づくり
  - 地域のネットワークがある
  - 情報交換の場 (受験とか)
  - 家族で過ごす時間を多くとる
  - 親のネットワーク
- ・ 未分類
  - こどもを信頼

### A-3 テーマ「子育て」

#### 現状の姿

- ・ (グループ1)
  - 子どもがたくさんいる
  - 待機児童ワースト2
  - 子供が忙しすぎる
- ・ (グループ2)
  - 相談合手が同世代のママ友のみ
  - おせっかいおばさんがいない(しない)
  - 若いママパパは困っていることが多い
  - 共かせぎ世帯、とつぜん子供が病気でどうする
  - ワンオペ子育て
  - 地縁がない(他市から入)
- ・ 未分類
- ・ ママともの情報ネットワーク
- ・ 自転車の運転マナーの悪さ
- ・ 外国人が増えている
- ・ 公園や支援センターが多い
- ・ 敬老の日、ジジババがいない子
- ・ シニアも子育て
- ・ 誰かに何かをしてもらう

#### 対応策とその担い手

- (1) 行政
  - ・ 市民団体と企業の上に立つ
  - ・ シニアの活用、いかに
- (2) 協働
  - ・ 保健センターがコミュニティ団体・活用スキル持っている人と協働する
  - ・ 行政のたてよこ、くしさせ
  - ・ 他人の子供に声かけられるか
  - ・ 子育て経験者を生かしていく
  - ・ 子育て相談をふらっと立ち寄れる場所
- (3) 市民
  - ・

#### 望ましい姿

- ・

## A-4 テーマ「子育て」

### 現状の姿

- ・ 社会
  - 待機児童が多い
  - 外国人の増加（児童）  
⇒学習支援の必要な子
- ・ 家の中
  - 虐待の事件がある
  - 過酷な現状
- ・ 地域
  - 泣く子に冷たい世の中
  - 他人の子どもをおこらない
  - 赤ちゃんを知らない若者
  - 子どもと接する機会、時間がない市民
  - 会話することのないお母さん

### 対応策とその担い手

#### (1) 行政

- ・ 何かしてくれないか？税金を安く！？  
⇒助成・サービスで応える

#### (2) 協働

- ・ こどもの居場所づくり
  - 親が相談できる環境
  - 父親の参加
    - ◇ 家の中での育児
    - ◇ サッカー、野球
      - ケガをさせたら・・・
  - 地域ぐるみ

#### (3) 市民

- ・ いいことをしている！！志のある市民はいる！

### まとめ

- ・ 一年と限らず助成金を出してほしいと行政に求める
- ・ 活動を継続させるサイクル作り
  - 世代を超えて続く活動を行政と市民が一緒に考える

### 望ましい姿

- ・ 子どもの安心安全な街作り
- ・ 外にでる
- ・ 子どもがたっぷり遊ぶ
- ・ 地域を生活する場と実感すること
- ・ 「泣く」ことは当たり前、困らない大人
- ・ こどもの姿を十分にみてから親になる
- ・ 遊びの場に全世代がいる  
⇒中高生の余裕を“遊び”に！！

## A-5 テーマ「子育て」

### 現状の姿

- ・ 人
  - 親同士の付き合いの希薄化
  - シニア男性の能力を子育てに引き出していない
  - いじめや子どものトラブルを報告する第三者が少ない
  - 子どもをターゲットにした犯罪の手口が多様化している
  - 子育てに対して男性の活用が少ない
  - 小学生～保育園など、職員数が少ない
  - 職員の方の子育てへの知識不足
  - 職員の方自身の技能が不足している
  - 保護者の方が子どもに対してどのように対応するかわかっていない
  - 職員の仕事量が多すぎる
  - 職員の仕事に対する熱意が足りない
  - コミュニケーション、顔を見る関係が少なくなり、感情の表現がヘタ
  - スマートフォン、SNSによる関係
  - 他人に干渉しない風潮(注意する人が少なくなった)
- ・ モノカネ
  - 子どもに好きなこと、興味のあることをやらせる余裕がない
  - 子育てに対して市の補助金が少ない
  - 朝霞市には子育てに対するシンボルテーマがない
- ・ 場所
  - 学校の施設の利用が足りない
  - 利用が少ない
  - 子どもが散歩して楽しめる場所、機会

- が少ない
  - 外で遊ぶ場所が少ない
  - 遊具のある講演、ボール遊びできる公園が少ないか減っている
  - 保護者の方の子育てに疑問を思う
  - 24H対応の子育て病院がない
- ・ しくみ
  - 子育てに対して相談先がわからない
  - 子どもと大人(親)と一緒に勉強する場、時間が少ない
  - 市内に子育て応援者に対する応援ありがとうカードが欲しい
  - 子育てで身近な人が少ない
  - 若いパパママにとって身近な相談相手、場所が少ない
  - 保護者の方は子育てに対して誰に相談して良いかわからない
- ・ 未分類
  - 小学生、幼児まで、怒ることが少ない
  - 中学生は不登校が多くなった
  - 中学、受験者が多い
  - 核家族
  - 勝ちとか一番ばかりが優先されている
  - ほめられたいばかりでおこられない
  - 塾で忙しい
  - 夜ふかしが多い(夜間、外に出かけている)
  - ゲームばかりで学習時間が足りない
  - 小学生はいじめが多い(増加中)

### 対応策とその担い手

#### (1) 行政

- ・ 小学校で専門の相談員が定期的に開く
- ・ 保育園で子育ての相談を受ける人を置く

- ・ 相談する場のPRをする
  - ・ “ネットで解決”の地域コミュニティVer.をつくる
  - ・ 「助かった！」事例の共有
- #### (2) 協働
- ・ 子育て応援じじばばショップ制度
  - ・ 子育て応援ポイントカード
  - ・ 子育て相談ダイヤル24H
  - ・ 24Hホットラインを置く(相談所)
  - ・ 広報配布のときにお互いに子育ての話が出来る
  - ・ 子育て用の役立つイベントを開く
- #### (3) 市民
- ・ 定期的に地域の交流を深める
  - ・ 近所同士のつながりが必要
  - ・ イベントへの参加を呼びかける
  - ・ 地域の子育てリーダー育成(おじいちゃん、おばあちゃん)
  - ・ スマホの活用(24H対応)
  - ・ 皆さんで「子育て応援ボランティア貯金を」始めませんか

### 望ましい姿

- ・ (グループ1)
  - 楽しいことを共有できるコミュニティがある
  - 子どもが自分の好きになったことを見つける機会がある
- ・ (グループ2)
  - 相談できる場をつくる
  - 子育て相談する場所を確律する
- ・ 未分類
  - 公園でやりたい遊び、遊びたい公園を子どもたちが知っている

## B-1 テーマ「福祉」

### 現状の姿

- ・ 地域福祉
  - 地域のつながりの希薄化
  - 近所付き合いがない
- ・ 高齢者福祉
  - 定年退職者の増加に伴う雇用不安
- ・ 障害福祉
  - 知的障害の場合、見た目が健常者とあまり変わりがないので誤解を受けやすい
  - 我が子が障害者なので、将来、憂う事ばかり
  - 今、自分にできることは、ボランティアでおかえしをすることです。
  - 市のみなさまに感謝しています。
  - Gホームを作りたいが、資金はないし、場所等もなかなか見つからない
  - 自分の子供が身体障害なので、さきを考えてとふあんです。
  - 朝霞市は障害者にたいしてどのようにしてくれるのか？よくわかりません。
- ・ 児童福祉
  - 共働きによる待機児童の増加
  - 子供を保育園に預けることを考えると保育園が少ない

### 対応策とその担い手

#### (1) 行政

- ・ 行政の人にも、もっと身体障害者のきもちをわかってもらいたい
- ・ 前に歩けないのに、なぜくつが必要なのだとされた。
- ・ 保育園（公営、民営）の整備
- ・ 市でも情報提供をお願いしたい
- ・ スクール30（？）など、通学路を整備して安全な通学を
- ・ 雇用の安定のための政策
- ・ 障害者に対する偏見をなるべく取り除く勉強会をする

#### (2) 協働

- ・ 交通指導員の育成となり手への積極的な立候補
- ・ 障害者の方に講演会を依頼するなどして、健常者の差別、偏見をなくす
- ・ まとめ役、担い手、地域のリーダーの養成

#### (3) 市民

- ・ 地域の行事に積極的に参加する
- ・ 日常生活の中で、障害で困っている人をちょっとでも構わないので、支え合う（ex. ゴミ出しを手伝うついでに買い物をしてきてあげる）

### 望ましい姿

- ・ なるべく年金内で生活できるようになる事が望ましい
- ・ 市役所？知的障害者の就職を（やとってほしい）
- ・ Gホーム等の運営を行政でしてほしい
- ・ 年を取っても働ける
- ・ 地域のつながり活性化
- ・ 安心して夫婦共働きできる
- ・ 私はかり家に住んでいます。市で障害者用住宅があれば・・・。なぜ朝霞市には市営住宅がないのか。
- ・ 自分の年齢（75才）を考えると、障害の子供がきになる。どうしてよいかわかりません。

## B-2 テーマ「福祉」

### 現状の姿

- ・ 地域
  - お一人暮らしの高齢者が増えている。どんな問題を抱えていらっしゃるのか
  - 生活ホームの支援員さんの補助をしてくれるボランティアが欲しい
  - 地いきの問題が表面化出来ない
  - 町内会のマンネリ化と問題表現力の弱さ
  - 人とひととのつながりの弱体化
  - 町内会仕事負担大きい
- ・ 行政
  - 道路の段差やゴミ散らんの状況がある
  - 外国の方との生活かんきょうの考え方のちがいが多い
  - 朝霞市内に入所施設を作ってほしい
  - 高齢に伴なうゴミの当番への負担増
  - 市民の声と行政の考えがずれてる
  - 障害者の親なき後の行く場所がない
  - 行政が市民のこまり事をすいあげていない
  - 伝える手段がほしい
  - 市の職員さんの活動が見えない
- ・ 未分類
  - 学校における貧困家庭の現状はどうだろうか(生活保護、教育扶助だけでなく、現実)

### 対対応策とその担い手

#### (1) 行政

- ・ アンケート
- ・ 苦情を受ける相談窓口
- ・ 行政は意見を聞いてこう考えました広報とか
- ・ 市民の声が「こんなことありました」PR

#### (2) 協働

- ・ 「話し合い」× → お茶会○
- ・ 困難を抱えている高齢者が行政にも近所の方にも支援され安心できる生活ができるようになれば
- ・ 行政⇄市民、関係を良くする、いいやすい
- ・ ざっくばらん
- ・ テーマ毎に市民と行政の話し合い
- ・ 何回もやる

#### (3) 市民

- ・ あいさつ
- ・ さりげないかわり

### 望ましい姿

- ・ (グループ1)
  - 行政が市民のしてほしいことがわかる
  - 具体的な困っていることを行政がすい上げて!
- ・ (グループ2)
  - 高レイの人も趣味の仲間
  - おためし体験、気軽
    - ◇ はじめからグループで×
    - ◇ はじめは興味本位
  - どんな人も楽しい社会
  - 長生きして良かった
  - いろんなグループ、参加のハードル低く
  - 障害のある人、いろんな人いるんだ、いていいんだ
  - 固苦しくない
    - ◇ 「こうあるべきだ」×
  - 認知症の人も楽しい
  - 仲間=直接性会う×
    - ◇ 仲間=いろんな手段で交流
    - ◇ メール、電話、パソコン
- ・ (グループ3)
  - お互いに話し易い雰囲気
  - 人と人とのつながりがもう少し強い

## B-3 テーマ「福祉」

### 現状の姿

- ・ 収入
  - 格差社会
  - 支援引下げ
  - 障害のある方が稼げる場が少ない
  - 障害がある事で地域の中で生活がしづらい
- ・ 居場所
  - 孤立
  - 引きこもり
  - 障害者の居場所がない（サロン等）
  - 交流するような場所が少ないのではないか
- ・ サポート・ボランティア
  - 障害への差別や偏見が少なからず残っている
  - 障害者に対する理解者が少ない
  - 障害者をサポートする人が少ない
  - 市民に対する情報量が少ない
  - おこせるシチュエーションがない（わかりづらい）
  - ボランティア希望者は多い
- ・ 未分類
  - 外出を望んでもなかなか交通が不便である

### 対応策とその担い手

- （１）行政
- （２）協働
- ・
- （３）市民
- ・

### 望ましい姿

- ・ 居場所、交流
  - 居場所がある
  - 障害のある方がいろいろなイベントに当たり前に参加している
  - 多世代交流
  - 学校、クラブ活性化の交渉
  - 自主参加
  - さまざまな主体がまずは関心を持つ
- ・ 収入
  - 行政からの年金、サービス充実
  - 社会参加と生産活動の場の開発する
  - 寄附金
- ・ 未分類
  - 行政の後押し



## B-4 テーマ「福祉」

### 現状の姿

- ・ (グループ1)
  - 外出するためのユニバーサルかが進んでいない
  - 外で子ども達が遊ぶ場が少ない？公園ボール遊びなど
- ・ (グループ2)
  - 専門家リード、行政リードで措置の次代に逆行するのでは
  - 細分化・専門化が市民に届かない
- ・ (グループ3)
  - 市オリジナルの福祉の推進って難しい
  - 市の組織のたてわりのへい害
- ・ (グループ4)
  - 隣近所の助け合いが少ない
  - 障害のある方との交流のさらなる活性化

### 対応策とその担い手

#### (1) 行政

- ・ 活動の場を作る
- ・ 集える場の確保・支援
  - 空き家活用
  - 共同利用
- ・ 市民発想活動への支援の体制作り
- ・ 高齢者の活やくの場を作る  
⇒若返り

#### (2) 協働

- ・ 行政が町内会などへの関わりが少ない方との関わりを増やす
- ・ 人生の経験豊富な高齢者の話を聞く
- ・ 目標の共有
- ・ 次の世代につながるレガシーを残していく！
- ・ 役割分担の明確な認識
- ・ 行政・市民が共に考え、共に動く！

#### (3) 市民

- ・ となりに住んでいる人に声をかけてみる。まずは挨拶から！
- ・ 市のイベントにまずは参加する。入り口は興味のあるサークルでも！
- ・ 市民と市民とがつながるための間に入る人材となってくれる人をふやす
- ・ 高齢者の活性化（仕事を与える）
- ・ 小さなことの努力
- ・ 続けていくこと。団体活動でも、町内会でも、防災でも、サークルでも・・・

### 望ましい姿

- ・ まちづくり
  - まちの中に出ていきたい。外へ出かけたいと思える優しい街
  - バリアフリーな街
- ・ 地域のつながり
  - 人と人とがゆるやかにつながっている街
  - どなたでも地域で生活することができる街
- ・ 行政
  - 市の窓口などが相談しやすくなるとうい
  - 庁内の横断的な連けい